

おととし

Information

■ やまそう美術館(山口総合支援学校)あつまれ!作品の森(鴻南中学校)開催

大歳地域交流センターの入口ホールに山口総合支援学校の生徒さんと、鴻南中学校美術部の生徒さんが描かれた作品を展示しています。

センターにお立ち寄りの際はぜひご覧ください。



交流センター入口ホールを飾る作品

■ 大歳花いっぱい運動花壇コンクール結果

今年は11団体から応募がありました。7月30日(金)9:30から審査を行いました。みなさんのお手入れのおかげで、今年は特に花壇の花が咲き誇っていました。(満開^^)ありがとうございました。

優秀賞



高井自治会



総合支援学校(交流センター花壇)

優良賞

大歳小学校



下湯田自治会

朝田福寿会



9~11月

- | 行/事/予/定 | 9~11月 |
|-------------|-------------------------|
| ● [中 止] | 大歳地区敬老祝賀会【山口県総合保健会館】 |
| ● [中 止] | 交流列車おとしまつり |
| ● [中 止] | 第61回大歳地区体育祭【大歳小学校】 |
| ● 10月17日(日) | 大歳地区一斉清掃【大歳地区内】 |
| ● [中 止] | 第44回大歳地区バドミントン大会【大歳小学校】 |
| ● 11月 7日(日) | 第45回大歳まつり |

■ OKB会が開催されました

夏休みの初日、OKB会(大歳交流勉強会)が大歳小学校、大歳まちづくり協議会の主催で、大歳地域交流センターで開催されました。

OKB会は、地域の有志や鴻南中学校の生徒達が、大歳小学校の児童に夏休みの宿題を教えるものです。

宿題もはかどり、交流も図られ、有意義な会となりました。



鴻南中学校の生徒に熱心に教わる様子



■ 大歳地区一斉清掃のお知らせ

令和3年度の大歳地区一斉清掃は10月17日(日)です。毎年たくさんの住民の方に参加していただいております。今年も、皆様のご協力で大歳地区内をきれいにしたいと思います。皆さんの参加をよろしくお願いたします。

編集後記

新型コロナは終息せず、猛暑が続く、それでも無観客で行われたオリンピックに感動し、高校野球の応援に、大雨と大変な夏でした。秋には台風が到来かも。心の準備で乗りきっていききたいものです。(松本)

まちづくりかわら版 おとし

2021.9 Vol.71



敬老特集

がんばる高齢者 井手明雄さん

軍国主義教育の辛い体験から

井手さんは昭和9(1934)年2月17日生まれの87歳です。小学校6年の時、朝鮮で終戦を迎えました。「朕惟フニ我が皇祖皇宗国ヲ肇ル…」とか「神武・綏靖・安寧…」(教育勅語と歴代天皇名)などを丸暗記させる教育に疑問を持ち、覚えずに行くと軍国主義礼賛の教師から「死んだ方が国のため」などの罵声を浴び、殴り倒されました。終戦を迎えると「もう学校に来なくてよい」とだけ言ってさっさと姿を消したそうです(敗戦で植民地・朝鮮での日本人学校は閉鎖)。これが井手少年の体験した「日本の戦争」でした。

働きながら高校へ、そして大学の先生に

父がビルマに召集されて不在のまま、母と2人の弟を守って、日本に帰国、伯母の家に転がりこみました。やがて父が帰って、久留米で醤油屋をはじめると、それを手伝いながら明善高校の夜間部(定時制)に通い、九州大学の農学部に進学しました。専攻した生物化学は化学工業の発展や農業の役割増大で重要度を増し、愛媛大学の学科新設とともに田辺製薬から招かれて助教授に、昭和53



パソコンは必須アイテム



毎月2回の史談会 井手先生と暮られています

YouTube始めました!

大歳まちづくり協議会では、部会の活動や、地域の出来事を随時アップしていきます。是非ご覧ください。



史談会で活躍

年に山口大学に移って教授で定年を迎え、山口が終の棲家となりました。

大歳史談会との出会い

理系の井手さんが、なぜ史談会に参加されたのか。実は井手家は福岡県秋月家の家臣で、秋月氏は豊後・大友氏の進出に対抗するため大内氏の庇護を受けたとの史料があり、詳しく知りたいと思い参加したそうです。福岡の宗像氏が大内氏に従って、黒川氏となった例と酷似していますが、残念ながら大内氏との関係はわかりません。「センターだより」では地震・流星などの自然現象に関わる歴史や酸っぱい酒を蒸留しておいしい焼酎に変える話など、井手さんが書かれた記事は何本もありますし、今もセンターだよりの史談会の歴史コーナーの最終稿づくりは井手さんの役割です。



念入りのチェック!

見守りに助けられて

先ごろ、奥さんを亡くされ、井手さんは独居老人となりました。「大丈夫かな」と誰もが心配しましたが、「ごみ出しや草取りをしてもらった」など、近所の方のしっかりした見守りと、「子どもの頃の苦勞に比べたらなんでもない」という思いの強さで乗り切っています。

井手さん、これからもお元気で!



平成30年5月 明治維新150年記念事業が終わった時に史談会の皆さんと

通学路への進入規制から1年

朝7時半～8時半まで岩富一帯で山口方面への車の進入規制が実施されて1年が経とうとしています。車の通行量は減りましたが、通学路の安全は確保されたとは言い難い状況は続いたままです。

大歳小学校の西川校長に現状を聞きました。

大歳小学校の入口は石州街道に面した正門しか開いていませんから、すべての児童が石州街道の通学路を通ります。ところが、車は通学路にはみ出さなければ離合できない狭さです。私は毎朝、校門前に立っていますが、2度ほど車のミラーにぶつかりました。運転手は対向車に気をとられてぶつかったことに気が付かない様子で行ってしまいましたが、子どもなら顔にぶつかる高さです。今でも思い出すたびにゾッとしています。子どもたちも数回接触事故に遭っています。

白線をひいただけの通学路で、子どもの安全を守ることは極めて難しいと思っています。せめてポールをたてるなどの応急措置が実現できないかと思っています。子どもたちには8時前後の30分間に集中して登校してもらっています。こういう子どもたちの努力に応える安全対策をぜひお願いいたします。



大歳小学校 西川孝文校長



見守り隊と新1年生との対面式

安全確保のため見守り隊も奮闘中!

4月19日13時半から新1年生130人と見守り隊との対面式を校庭で行いました。見守り隊から登下校の安全についてお話をしたところ、1年生全員から元気な返事が返ってきました。

好評! 大歳の気になるお店

Welcome Ootoshi

広島風お好み焼 芳よし

今回は矢原駅近く、セブン・イレブン向かいの『広島風お好み焼 芳』。隠れ家風で気になっていました。

オーナーの三宅さんが自宅の敷地内の納屋を改装して、お店を始められました。今はオープン4年目だそうで、店内は厨房や椅子などにこだわり、明るい雰囲気です。三宅さんは長らく通勤族で、山口に戻られてからまったくの畑違いながら一念発起で勉強し、周到な準備を重ねて起業されました。昨年からは退職されたご主人の協力のもと、お二人で切り盛りされています。

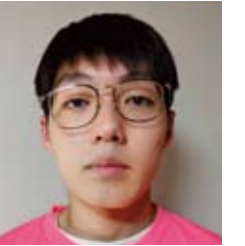
お店のモットーは、安価で美味しいものを地域の人に提供したい。こだわりは、通常シングルのお好み焼のキャベツが、250g強とかなり多く、その産地も11～5月は秋穂産で、その時期にベストなものを選んでいるそうです。また、ソースは広島で有名なお好み村で使用のミツワソースです。(山口市ではここだけ)

キャベツの量が多いので、出来上がりに少し時間がかかるそうです。女性ひとりでも気軽に入れるお店で、シンプルでヘルシーな美味しいお好み焼を食べてみませんか。

- お好み焼 肉玉(麺なし) 600円(税込)
- お好み焼 エビ玉(そば・うどん) 750円(税込)
- メニュー その他たくさんあります!
- ディクアウトできます!
- シーフード焼そば 720円(税込)

子ども会ジュニアリーダー J.L活動を通じて

大歳地区では子ども会活動が減少していますが、その中でも頑張っている子ども会のJunior Leaderさんに話を伺いました。



田中 考さん

僕は小学5年生の時に市の子ども会が主催する研修会に初めて参加し、中高生JLが生き生きと指導してくれる姿に感銘を受けたのがきっかけでこの活動を始めました。

JLとは各市町の子ども会活動で、行政の支援のもとに研修を重ねた中高生が、わたしたちの地域でレクリエーションやキャンプを指導する、身近にいる楽しく明るいお兄さんお姉さんの事をいいます。大歳地区では過去に体育祭やお祭り、去年からは夏休みのラジオ体操の企画や運営をしてたくさん子ども達や地域の方と交流をしてきました。僕を見かけた方、一緒に楽しんだ方もたくさんいらっしゃると思います。

中高生になると同世代との関わりが多くなりがちですが、この活動を通じて良かった事は行政、育成者、地域の方たちが温かく見守ってくださったおかげで地域との絆ができ、何事にも臆せず人の前でも話すことに自信がついたことです。さらに人を尊重しあうことの大切さが学べました。これはすべて楽しい遊びの中で自然に身についたことなので、学校だけでは学べない人間としての基盤ができたように思います。

僕は今高校3年生でJLは今年度で卒業します。今後は、僕がJLで経験してきたことを今の小学生、中学生に伝え、子ども会を通じて地域で活躍してもらいたいと思います。



ラジオ体操 スタンプを押すところ



お団子の会



単位子ども会小学生会長



落葉たき

新コーナー 写真で見る 大歳今昔

高井八幡宮 参道の松

「十年一昔」と言わますが、「五昔」となると記憶している人も少なくなっています。この写真は松が切り倒される直前の昭和46(1971)年11月28日に写されたものです。写真の場所は、高井八幡宮の御旅所です。高井八幡宮は、明治39(1906)年の内務省令により、当時大歳地区にあった7つの社が現在の朝田神社にまとめられたため、社殿はなくなり、その後は、御旅所のみが残されました。数本の松が御旅所とマッチして、当時の子どもたちの記憶に残っている場所でもあります。

「十昔」以上前となると、社の位置や様子さえ

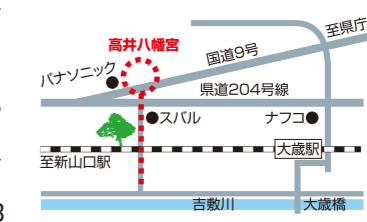


上/昭和46年11月頃



松の上部↓ 拡大

覚えている人は皆無です。石段があったとか、なかったとかその位置も人々の記憶の中から消えつつあります。しかし、明治32(1899)年に測量され、明治34年に発行された地形図で見ると確かに参道から社殿に続く石段があり、尾根の上に社の地図マークが描かれています。参道に向かって伸びた尾根の上にあった社殿や石段は、二度の国道づくり(新旧9号線)と電機会社の工場をつくる際に削り取られ、今は跡形も無くなってしまいました。



参道から吉敷川方面(南)を望む



参道から社殿方面(北)を望む



社殿が在ったとされる山の尾根の残り